

# **BUPPAN Webinar**

**2021/03**

# BUPPAN Webinar 2021年 3月

## 第1部 【解説】 自社オリジナル製品の企画開発プロセス

### ステージ

1st 準備

2nd デザイン

3rd プロトタイプ

4th 認証、パッケージ設計

5th 小ロット生産

Fin 量産

# 1<sup>st</sup> ステージ 準備①シナリオ形成

「オリジナル製品を企画するための重要なシナリオとは？」

- スタートはOEMからで構わない。（同じ商品なら勝敗は量的経営資源で全てが決まるが、DtoM時代における生存率は低い）
- オリジナル製品を作るか否かは現状の「マーケットシェア」次第：安定的なトップシェアブランドが存在するのか？
- 量的経営資源で太刀打ちできないマーケット→弱者戦略(差別化戦略)
- 徹底した顧客ニーズへの合致（強者がやりたがらないことに対し、量と質をコントロールし、「点」でアプローチすることで強者のミート攻撃を回避）

# 1<sup>st</sup> ステージ 準備②資源の確保

「商品を開発するために必要な資源を準備しよう」

- 新商品の企画開発に捻出できる最大予算の把握
- 顧客ニーズをデータとして収集し分析できる環境の配備
- R&D (Research and development) 担当者の設置 (技術開発までは不要)
- ID (industry design) を設計できる資源の確保

## 2<sup>nd</sup> ステージ デザイン①デザインの種類

工業製品を生産する過程には様々なデザインがある

- PD (Process design) 生産工程の設計
- ID (Industry design) 製品外観の設計
- MD (Mechanical design) 製品の内部構造に関わる設計
- HD (Hardware design) 製品の各パーツに関わる設計
- SD (Software design) 主にプログラミングの設計

## 2<sup>nd</sup> ステージ デザイン②完成までのプロセス

### デザインプロセスにおいて我々が用意するもの

- A) ID (Industry design) 製品外観の設計
- B) 詳細なスペック要求
- C) リスクマネジメント

※BとCは可能な限り数値でリクエストすること



# 3<sup>rd</sup> ステージ プロトタイプ

## デザイン完了からプロトタイプ完成までのプロセス

1. 「型」の製造
2. 外部パーツの製造(主に筐体を指す。完成した型から形成)
3. 内部パーツの製造 (主に基盤回路を指す。)
4. 各パーツの検収
5. プロトタイプサンプルの組み立て
6. サンプル評価、修正
7. 発注者による現物確認

## 4<sup>th</sup> ステージ 認証、パッケージ設計

プロトタイプが完成したら第三者機関の評価へ

- 日本の規格に適合しているかをテスト
- パッケージ、説明書、アクセサリ品などを準備

## 5th ステージ 小ロットでテスト生産

最初から大ロットで量産するのではなく小ロットで様子を見ること

- 100~200pcs程度がベスト
- 不良項目や不良率などをチェック
- 不良内容に応じて検品内容をプランニング
- 場合によってはプロトタイプを一部修正

# 一から商品を企画開発するメリット

- ・ 唯一無二の存在であること
- ・ オリジナル商品の全てにおいて語る事ができる
- ・ 力強いストーリーが描きやすく、ファンの醸成に繋がりやすい
- ・ ID、MDの設計次第ではコラボ企画なども容易にできる

# よくあるトラブル

- ・ 最終的な仕入れ単価が初期では不確定
- ・ 指定した素材やパーツの相性が合わない
- ・ プロトタイプが完成した時点で内部的瑕疵ではないが、想定していなかったマイナスポイントが見つかる
- ・ 開発段階でマーケットの競争率が激化